

陶小だより



綾川町立陶小学校
令和4年6月号

相手の気持ちを、自分だったら・・・と考える

先日、全校生に、運動場での遊び方や言葉遣いについて放送でお話をしました。みんなで目指している「陶笑学校」にしていくためです。

私は、機会があるたびに、子ども達に次のようなことを言い続けています。それは「やわらかい心」で、相手を受け止めるということです。これは、私がかつて6年生を担当していた時、道徳の時間に子ども達と一緒に学んだことで、今もずっと心の中で大切にしていることです。この言葉は、当時授業で使用していた「心のノート」という資料に載っていた相田みつをさんの詩の中にある言葉です。

セトモノと / セトモノと / ぶつかりっこすると / すぐこわれちゃう / どっちか / やわらかければ / だいじょうぶ / やわらかいところを / もちましよう / そういうわたしは / いつもセトモノ

「やわらかい心」と「セトモノの心」。忙しく、先行き不透明なストレスフルな毎日の中で、子ども達、家族、友だちを受け止める自分自身はどうだろう？ 時々思い出したい言葉です。

今後も地域の大切な宝である陶小学校を、「陶笑学校」にしていくために、保護者の方々、地域の方々のお知恵もいただければありがたいです。今後ともお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

大きく育てね。

1年生のアサガオが双葉を出しています。水やりをしながら、愛おしそうに葉を見つめる子、「校長先生、私のはね、〇本も出てるんで！」と嬉しそうにお話してくれる子。命の息吹、たくましさを感じていて様子です。



2年生は、お野菜に素敵な名前をつけて育てています。ピーマン、トマト、ナス、枝豆、オクラ・・・大きさや形など、どんな実をつけるのが楽しみです。ペットボトルに、たっぷりと水を入れて、たっぷりの愛情も一緒に毎日注いでいます。

陶っ子農園では、今年も、地域の方のご協力で、サツマイモのつるをさす準備が整いました。土づくり、畝立て、マルチ張りとお仕事の合間をぬって、大変な作業をほとんどしていただきました。

友だちと、穴を掘ってつるをさす作業、成長していく様子を見て、わくわくして収穫する作業など、「体験」からの学びは、いつでも心に残るものだと思います。



6月の行事予定<今後の感染状況によって変更することもあります>

月	火	水	木	金	土
	この週で、サツマイモのつるさし (陶っ子農園)	1 陶小学校運動会 給食後、 全校 12:40 下校	2	3 プール掃除 (5、6年)	4
6	7 ⑥児童会 この週で、一人一鉢の 花苗の植え替え	8 プール開き(学年ごとで、この期間中に実施) 全校 14:50 下校	9	10 内科検診1、2年 ノーメディアデー	11 ・高松西署管内 子ども自転車大会(6年代表)
13 内科検診3、4年 ゼッコウチョー タイム	14 全校 14:40 下校	15 職員研修のため 給食後 全校 12:40 下校	16	17 家庭教育学級、 避難訓練 引き渡し訓練	18
20 内科検診5、6年 学校諸費引落日	21 ⑥クラブ	22	23	24	25 全国小学生陸上 最終予選 (5.6年代表)
27 自転車教室 (3年)	28	29	30 月末大掃除	<<7月の予定>> 14日(木)、15日(金) 1学期末個人懇談会 20日(水)1学期終業式	

※ 6月17日(金)の家庭教育学級、引き渡し訓練の詳細は、後日お手紙でお知らせします。

その他のお知らせ